雅遊漫録

三

7
4
332

伊藤篤太郎記

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332

ガラス使用

特7-332

伊藤篤太郎記

雅遊漫錄卷之四目錄

錦繡譜小引
同　絑紋圖
同　註解
同　價品高下

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号　特7-332
ガラス使用

雅遊漫錄卷之四

錦繡譜小引

凡錦繡の世に用ひ重其價如金故制字旁
[illegible]
劉熙釋名曰錦金也作之用功重其價如金故制字旁
與金也丹陽記曰歷代尚殊有錦而成都獨稱妙故三
國時魏則市於蜀吳亦資西蜀至是始乃有之益州記
曰錦城在益州南笮橋東流江南岸昔蜀時故錦官也
處號錦里城墉猶在鄴中記曰錦有大登高小登高九

雅遊漫錄卷之四 錦繡譜小引

明光。小明光。大博山。大茱萸小茱萸犬交龍。小交龍蒲
桃文錦。班文錦。鳳凰。朱雀錦。韜文錦。桃核文錦。或ハ
或ハ黄綫。或ハ綠綫。或紫綫。或ハ蜀綫。工巧百數。不可盡名也
華夷珍玩考

今ここに絳の彼方乃書ふ載るものと挙ぐるところ
まの所ふそのこのこ

大倭錦

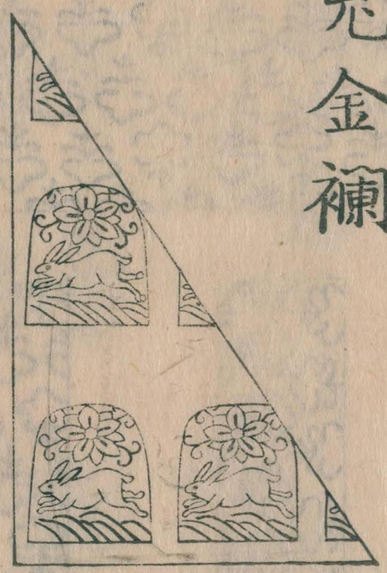
名物錦繡圖 年来目撃スル所ノ繡文數十種ヲ圖ス看覧ノ君子其大概ヲ取テ眞ヲ此ニ攻ルナカレ

雞頭金襴

大燈金襴

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332
ガラス使用

花兎金襴

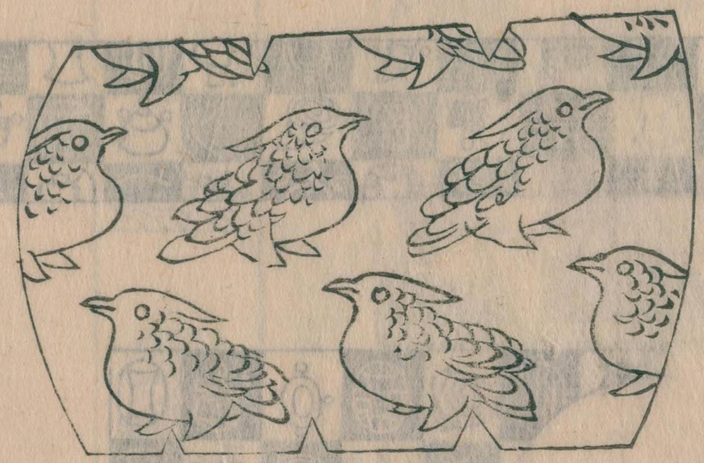


釣石疊金襴

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332

ガラス使用

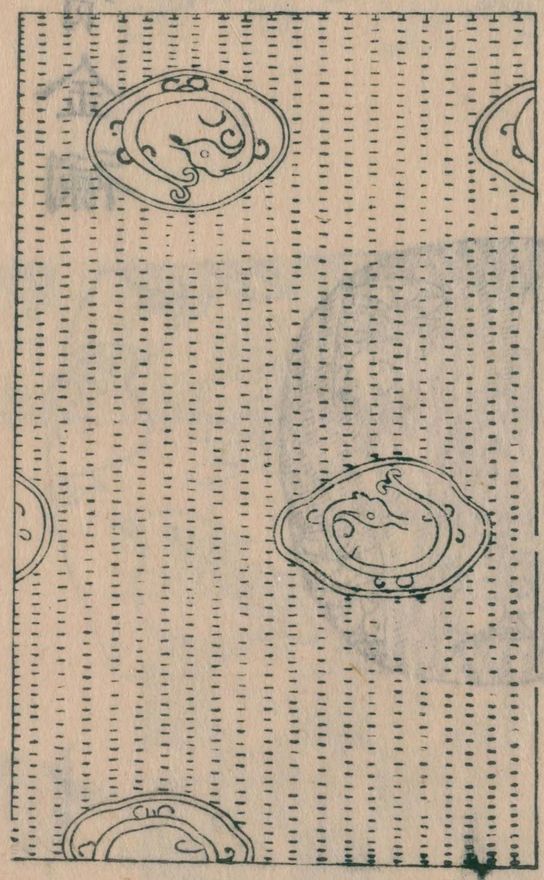
鴛鴦金襴



淨智金襴

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332
ガラス使用

同上

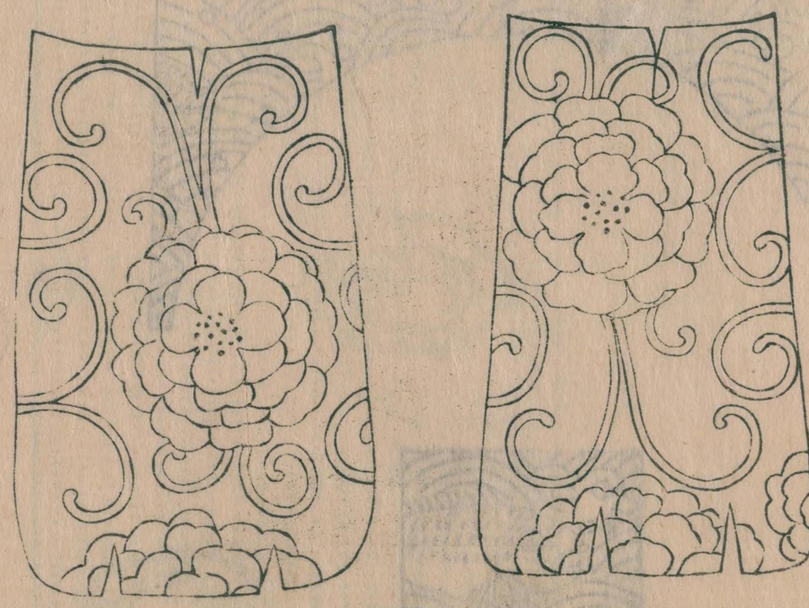


荒礒金襴

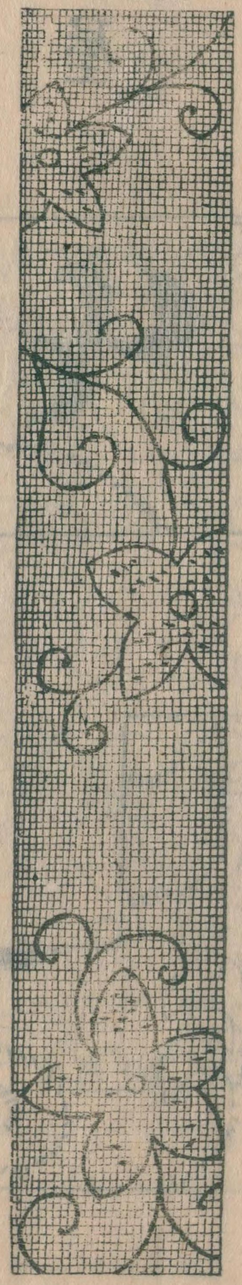
国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332

ガラス使用

印金



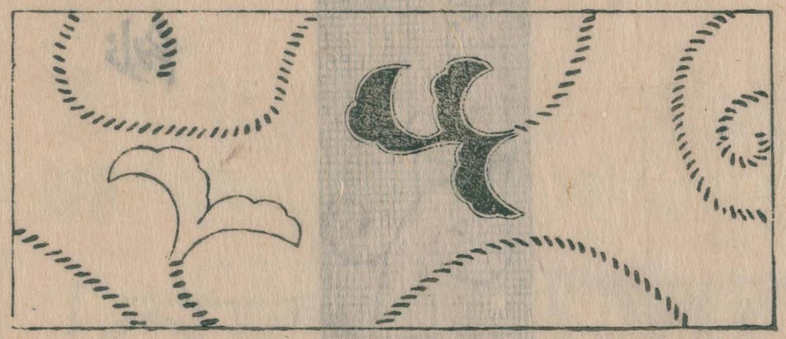
金紗

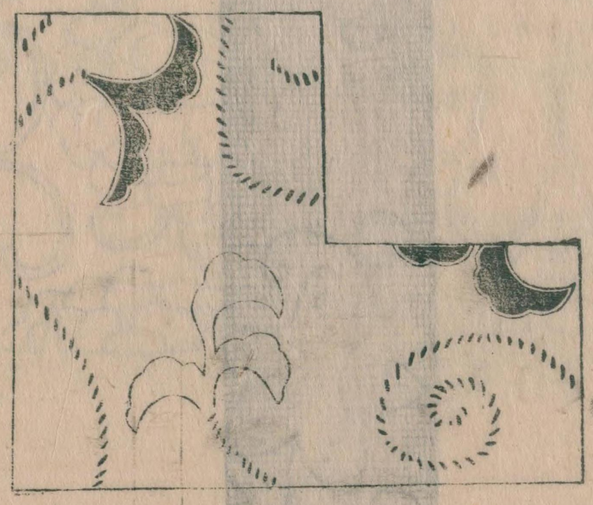


国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332

ガラス使用

錢屋紗



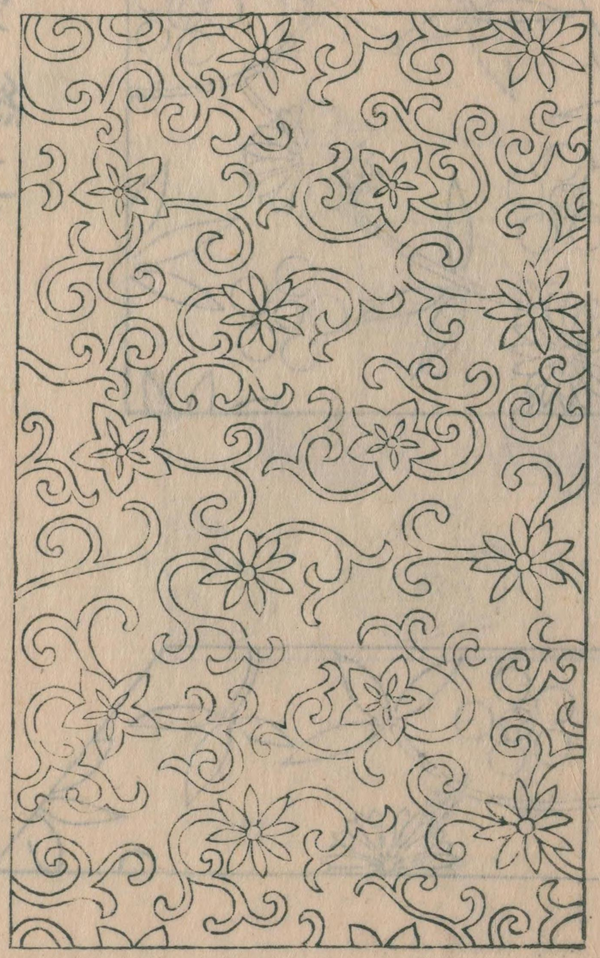


燒切黑舟切

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332　ガラス使用

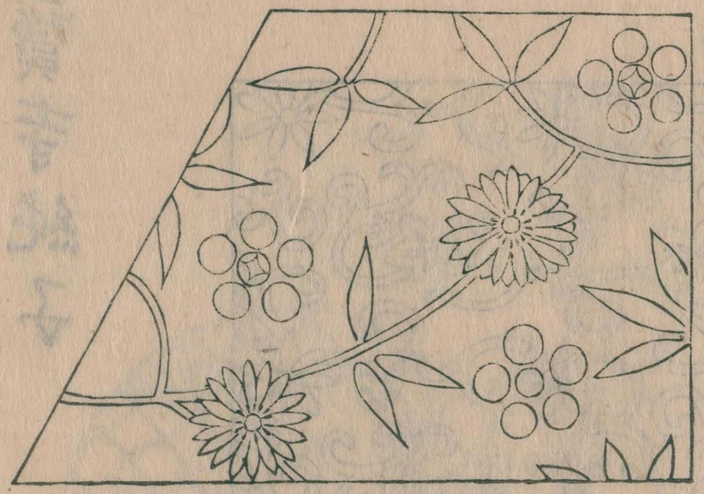
白極純子

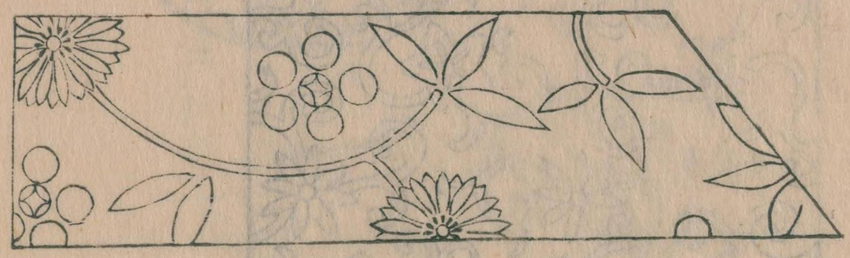
正寶寺純子



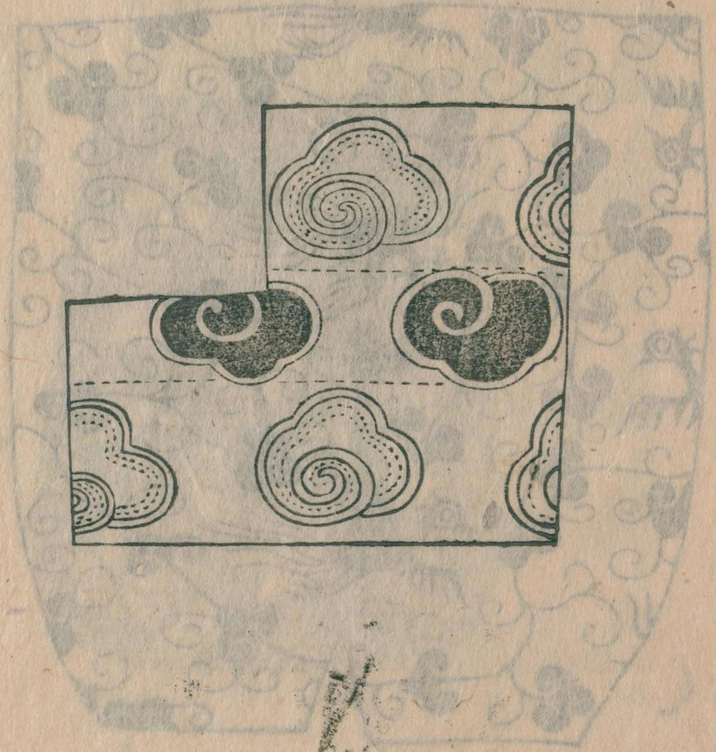
国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332
ガラス使用

笹蔓 純子





渦 純子



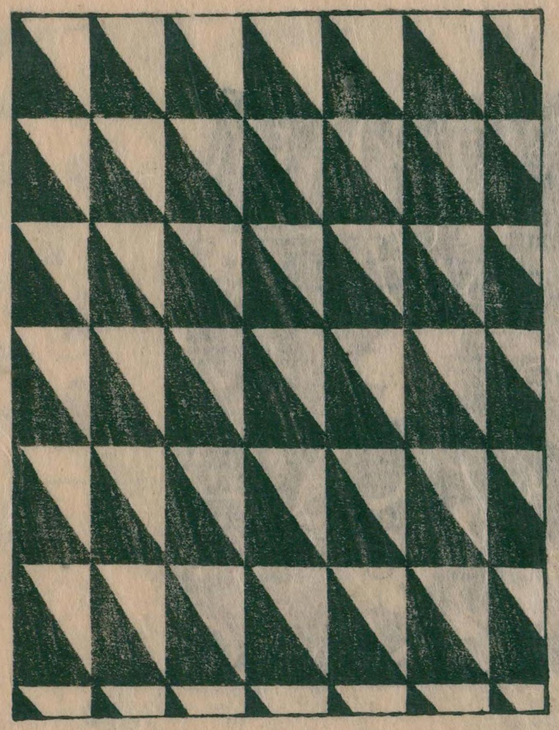
国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332
ガラス使用

七羊純子

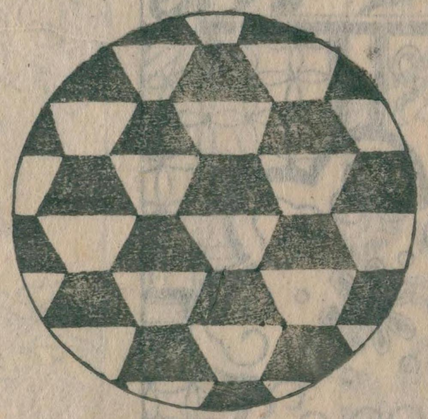
珠光純子

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332
ガラス使用

住吉切



袴腰紕子



国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332　ガラス使用

有栖川

羅地印金

織田絋子

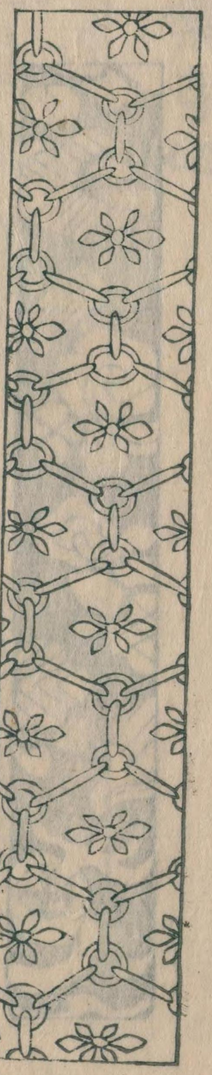
国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332
ガラス使用

時代純子

清水切純子

テンス印金

釣鎖り



国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332
ガラス使用

時代沙切

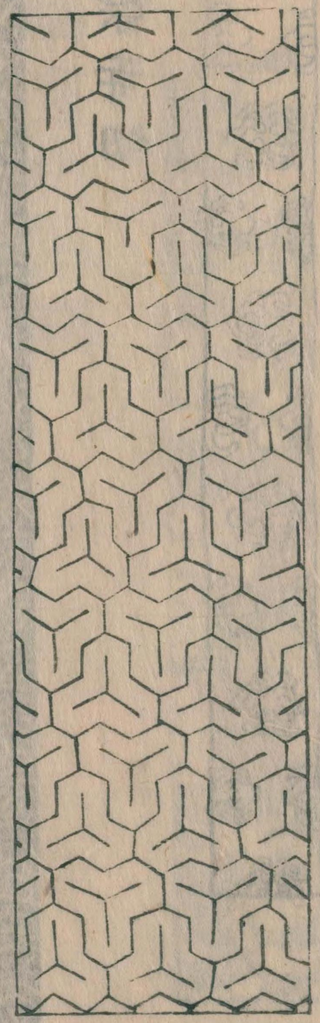
興福寺切銀補

本能寺純子

長樂寺切

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332　ガラス使用

鋼先段子



和久田切

金春切

裂り錦

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332

ガラス使用

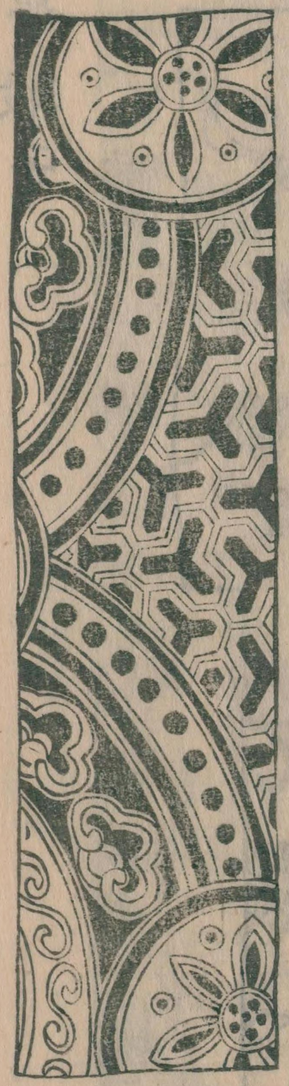
蜀紅

筐蔓緞子

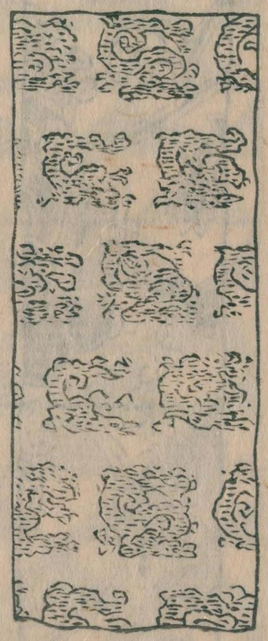
国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332　ガラス使用

紹鷗緞子

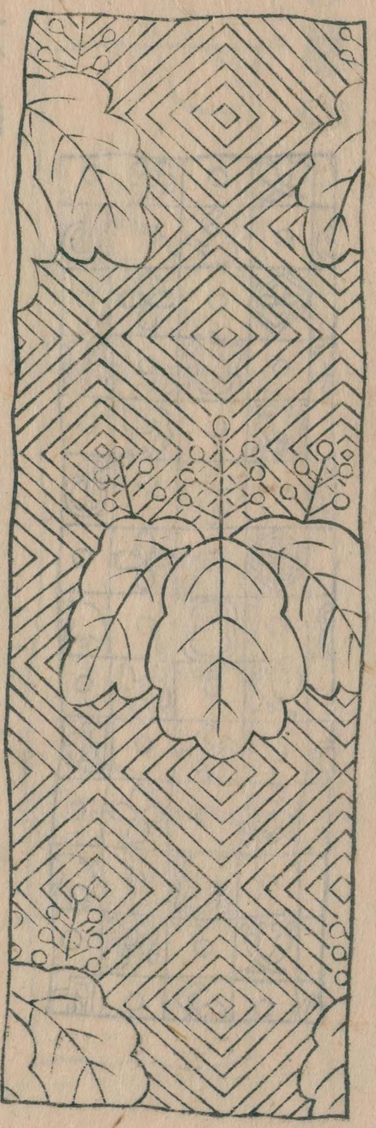
釱太鼓金襴



角龍切

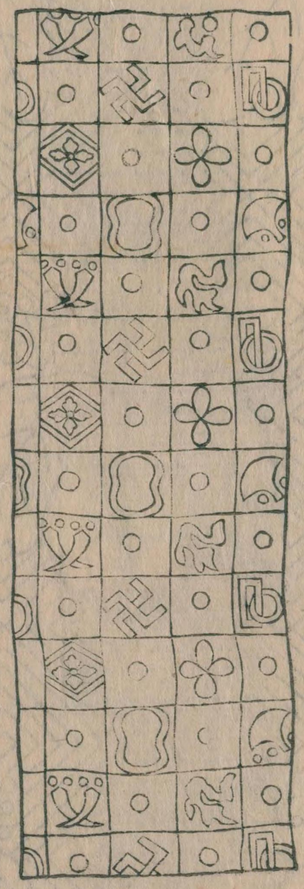


嵯峨桐金襴



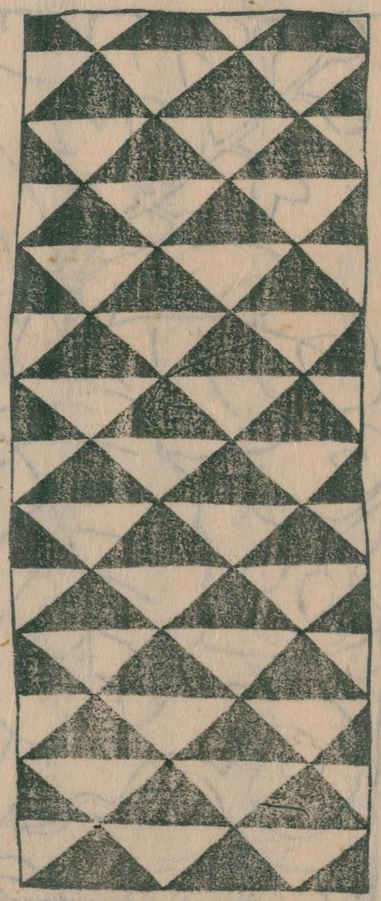
国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332
ガラス使用

小石畳



ウンケン

鱗形



伊藤切

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332　ガラス使用

大内桐金襴

大和錦

地を黄又は萌黄もえぎ神具ふつくに摸形を織りたるの錦錦也手ハそぐ毛ぬきおるれともに只平形の織あり

さく位古をの大社の御神宝のうちそなとてうひよりそ

神代よりあるよしと云伝へ只平織の和らを

雑頭金襴　　糸入袋有ら　代金二拾枚位

地をそそうさめと黒そそう摸形を織たるを

標地あり

大地全標

地をそそそそうさめりやう荔枝梨に似て小つぶありて五の目うう

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332　　ガラス使用

そゝる組〳〵大綱地くゝ大墜圀師 裂漫の切ゝこゝりのそゝ

長楽寺圭蘭

地名一すゝゝさゝんりやゝ七ツ星又の目ゞそゝるゝ詠の丸組〳〵

大篠地ゝり

日 代金三百弐佰

逢坂全篠

地をむをりやゝ七ツ星又の目にをゝるゝよ詠の丸

あり組〳〵大篠地ゝり

細矢全蘭

地をむをりやゝ細矢之方くゝ入遠ゝるゝ詠の丸あり

組〳〵大篠地ゝり

日 代金三百弐佰

源源切金蘭

地名むをりやゝ又七の狗乱ゝるゝ

今のあゞやゝくゝゝて別組〳〵

我陰ゝ玄仏有庵く識ゝ多参ゝ切ゝ源源の秩仰のそ帳ゝり

日 代金三百弐佰

弁参ゝ蘭

地名むをゝ迄ゝやゝ組ゝの参組大少

弁麒麟全蘭

地名むをゝさゝん組〳〵参をのゞ

弁ところゝん組仏ゝ大さ一ゝす五ゝ佐

トミタ全篠

日 代重指枚佐

日 代金三百弐佰

日 代金三百弐佰

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332　ガラス使用

地をこゆるぎのいそ　宝珠五の月こそ　地紅梅　地しら玉の宝ぬ大作の後弥の下れる宮ゐ　ふく風もとゝ
ふく迄てかりくに　千年ふく切レとり
日　代令指枝住
住吉切令簗
地をもひをさめ組一事をのぐ〳〵ふく大仏ちく歌
大さ一すさ　分程地紅簗地ゆや
日　代重指枝住
橋屋令簗
地をこゐ出ふく〳〵鳳凰の九つをのぐさ　の月こそ　地
紅もゝを地らん地の
日　代令指枝住
奥福寺切狭箱

地をこゐ出ふく〳〵ゆこそ宝珠五の月こそ　地紅らん地もゝ
日　代令百枝住
地のくるり
狭間寺令箱
地をこゐ出ふく〳〵ゆこそ　地紅簗地　紅ゐめ浴切と日化もり
日　代令百枝住
本下令箱
地をこゐ出ふく〳〵風風の令地紅簗形こそ〳〵ぶ　地紅らん
ゐもを地の
日　代重拾枝住
鶴令箱
地をこゐ入ぶこそ〳〵令地梅達ゐ　紅ゐもを地紅高地
日　代重三枝住
大徳寺令簗

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332
ガラス使用

地をもたゝき一ツハをもて一ツハこゝにすゑたり

は代重指教也

法華石菖蒲盆

地をおこさゝず一ツ石菖蒲一ツ

八地紅あるは地らん地のうへ

鴛鴦(おしどり)盆前

地を緑地りやうおしどりの大さ拇一すゑのをのこ五の用に

そりう紋のうあるりをのうへ

用蓮まんざくの表をおもてりこゝ

針屋切盆前

地をりんこさゝず鍵歌拇一すゑこゝに手ごゝ

は代重百ゑ也

地紅縮地なり

ゑめ銭切盆栽

地をたゝきこゝ

宝ゑこゝ地紅縮地

大内菱盆栽

地をもたゝき一すゑ拇ゆ

五の用にそりう地紅あるをもて地らん地のうへ

大内祖金前

地をたゝきこゝ字ゆ

大友菱盆前

は代重三枝也

は代盆百ゑ也

は代盆拾両也

は代重三枝也

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332
ガラス使用

地ぞりへさゝもの〳〵沈麝取のごとく蓋もの切金縷
日代金二枚位
地を淡地紅〳〵茶地ぬきごとく
の二ツを蔓地紅綱地
苅川金綱
日代金拾両位
地を紺地ともの〳〵を繖物返ごとく
羽を繖金縷
日代金百両位
地を紺地ともの〳〵を風景地紅毛船のごとく
角龍金綱
日代金百両位
地をもくゝをりもの〳〵詩をむとの取ちらし又ごとく

押織もの地紅縷地をりへ京染紋尽宝地よき角龍金綱
日代金二枚位
達仁る金縷
地をりへさゝもの唐花の唐草をつく地紅あやに金綱
日代金百両位
大紋狼綱
地をふくりもの〳〵桐うまこと木を地紅めこと菱ちの縞ごとく
日代金二枚位
海智金縷
地を白地ともの〳〵を亀の仙ちるをすゝる地紅縷地のごとく
日代金二枚位
菱種紅縷
地をりへさゝもの〳〵小仙ちる地紅あや地ごとく

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332　ガラス使用

義陸金襴

地紅ちりめん 日代金弐両

一枚大きさ壱丈弐尺

るでん 浪縫

地紅ちりめん 日代金拾両

雲鶴金襴

地紅ちりめん 日代金拾弐両

安楽庵金襴

地いろちりめん 日代 金弐両 此まで

ようこめるうれん 世ふそと 日代 金弐両 此まで

古金襴

地紅ちりめん 牡丹二色蓑の庵ま一色蔓そのみ 日代 金弐両より 此まで

襴地とそんく切世ふ東山ともそ 一切ずゝ

いるご浪縫

地紅ちりめん 小鶴取地 日代金弐両

義経大紋

地紅こいむらさきちりめん 浪の奥地紅大紋地ちり

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332　ガラス使用

いとや切金繍

地をもとゝしもやう〳〵山伏のつとめ切附代金百疋

印金

地をふくらもやう〳〵とふくらかしたゝかに仕立ぐるみ金箔をおくり押しあり袋に入る

紋紗帯金　紋紗地帯金　さゞ波地帯金

錆地帯金　本絽地帯金　毛よせ帯金　毛の雫帯金

日本印金

もやう帯金　あられ地もやう帯金　糸や帯金

代金又両位

もやう箱　一本帯金　縫紋大てい八百人もの色染と型抜

仕立

金紗

地をふくらもやう〳〵地紋大てい八百人もの色染と型抜

八帖金地小紋ところ〴〵地紋ぬきもやうにぼかし地

太糸縞ちぢみ　絣紗　紗八寸巾ぬき通し絣紗

縮緬紗

地ぐみ縮地ところ〴〵少庵ぐみ　ちりめん古代縮緬好

ぬきもやう切紗

繍屏切紗

地之拵地ニ而ハ
仏うる花ニ而ハ
唐く織ニ而ハ
京屋金屋紗
地之いろ〳〵ニ而ハ
や与切紗
地之ふく〳〵ニ而ハ
地金の刷紗ニ而ハ
とく〳〵ニ而ハ
さんざ〳〵切羽金襴

日 代金拾枚位

維摩染白衣の服之儘小金紋寶盡ニ而ハ
地紋あり東ハ金剛之文紋寶盡のごとし
寶鏡寺紙子

日 代金拾枚位

地之ちりめんせんの波ニ而ハ
下着ハ進紙子

日 代金拾枚位

地之唐草ニ而ハ
之ニ而ハ
ニ而ハ
ニ而ハ
白柏紙子

日 代金拾枚位

地をもをさめ但し柔をのごとく
ふ宝つくり但しも紋をり
白極いろ〳〵への敷おろく敷筆あり
うろろろろ〳〵よ〳〵

宗旬紙子

地をもをさめ但柔をのごとく
糸甲の間ふり宝をと但しも紋をり

羽光紙子

地をもをさめ但柔をのごとく
合紋のをと黄色柔

日代金拾枚位

日代金拾枚位

日代金拾枚位

有楽紙子

地をもをさめ千個よ地墨形の霧但白さうと紋有糸八
織田作也云舎弟也

日代金百枚位

ふぐる紙子

地をもをさめ但柔をのごとく
ふふふ指紋をふまる但しとも紋をり

日代金拾枚位

袈裟紙子

地をもろろ〳〵地ん〳〵ん〳〵ど
ふる紋宝家の繋束の如をりと

日代金拾枚位

笹蔓紙子

日代金二枚位

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』 請求記号 特7-332　ガラス使用

地をうちて人ごさもやう笹つんどう
るにうち入うちとも仕役うち重ね
うた紙子

日代金二枚位

地をみうちやうきいーとちやうんのやう皮仕う
うへぎれ海松なり
糸抜紙子

日代金二枚位

地をうち法うちやう干細梅ぞうるよ宝を仕設うち重ね
猿舎紙子

日代金壱枚位

地をうで菜うちやう難形仕ーせ法うさ役
亡羊紙子

日代金二両位

地をもをうちやう風風は茨枝の庵を有仕ーせ設うち重ね
亡羊ハ三宅氏增連宗師まく美人ごたんを取義のうー

日代金五両位

道玄紙子

地いうをうちやうーてうの庵を仕ーせさうさ設

日代金二両位

紹鷗紙子

地うをいうちやうやうまうさをい計仕ン菜う設

日代金二枚位

壱列内宮紙子

地うをうちやう宝をうる梅造仕ーせさう設

日代金二両位

そうで紙子

地うをいをうちやうやうさうをい計仕ーうやうさう設

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332
ガラス使用

清水切紙
地そとひろもや〳〵梅の立木ふき合の人うちもち但うん美
唐案　　日代金一枚位

遠州雲雀子紙
地そむらもや〳〵うちまよこみ雀子但ちさうん
　　日代金百疋位

狩場切紙
地そうちそ茶もや〳〵詩の九地合うこと但そも改こたそぐを
乳飲て富士のね野の時ふもや〳〵もの切りとそ
　　日代金三枚位

御茶印紙
地そうちそ茶りや〳〵ふもそ但そも改たり

三田羽紙
地そもやそりや〳〵お美こ梅遠うま宝法〳〵但白さ深ね
　　日代金拾枚位

琴尾紙
地そもそ但茶そのごとくもや〳〵詩法め半但うと改た
紙ふ南新うく松ふ源こ第一所お片参文袋片ふうう
うく但ぐんを時代本紙ちと日ものし
　　日代金壱枚位

但吉紙
地そうとうさめりや〳〵雑歌但実庵茶の改
　　代金壱枚位

袴腰紙
地そうで茶りや〳〵袴のこし板ふ月こを但一枚ふ人さ

ふくさ切

海黄切

地をくさぐさもえさくろ一地なりろこて云
ところ〳〵あり多くあハ筆こゝ及

紋海黄切

地をむ一ところ〳〵さくさめさくろ一地なりろこて云
牡丹ろ一くさ

時代錦

地をふくりやう一ふ一辛金又時代者と云亜こゝ金入さる
後下亜こゝ錦後下亜こゝ筆こゝ京本出るまんざ一の

表をミタ魚の緒ところ世よタ魚のまんさらこゝ地を
赤地タゞ〳〵のろ一ろまこゝ氏の撰来の中そをにし一さのろこゝ

つゞつゞ錦

地をふ一ふ一やう一ふ一織ろふ一ろ一ろ一ろ

万葉假名
漢字平仮
漢字交
漢字片仮

漢字平仮

漢字交

漢字片仮

漢字平仮

漢字交

漢字片仮

のごとくあり〳〵又西うり紛ごとも地あつくるよさこくりやう
う紋自然耳そこしハ濱形の耳のごとく又紋うつさそ
その深紋小牡丹紋を大うつ紋るのもあり大紋ハるし
も地味よろこ糸右ほり
高台ろいさ 佐下
文右ほり地味上代よりおゝ〳〵細さや 右ひきまた
ハ上代の素ものこそこし 欵甚あるし 一天窪ざうり
より底くさハそし近代の底うつさハ大幅く右代ゟ
うつさこそおるうる多是ゝ〳〵
雞形 佐上

右時代ゟ右ほり地もゝ白紋ざうり地味めちゝ紋
深うり多く上代を称ゝ〳〵
銀紛 佐上
地味うもう全紛ほり但ゝ〳〵上代ハ称さびくろこそ紋ちし
もゝ称うり多系入うるこそ也素く纖紛あり
星右ほり 同上
地こ味も系ほり重紋のふ二重そのるもゝ〳〵あり泡ふ二重
こも云高台こくも系ほりあし但ゝ〳〵ふの四文ハ纖紋
うもう世紋ざうり
古銀襟 佐上

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332
ガラス使用

地味紋古今らんにまお多白紙柿色
ろくあり但し大紙も古さハ狭さ
らんハ地味ちぐ〳〵なり

和久田 佐中

柿白紙く地味ろ〳〵紋ハ小点まく花の織文つ
ぐ〳〵しまる下もなり

金まき切

源氏金らんまく太日ノ但し金剛切なり

伴茶印切 日中

柿白紙く地味綿織又ハ厚板のごく〳〵

紋ろ織文ハ小点まく花の織文あり

清瀧 日之

紋ハろく〳〵ろ但し小点まよりさろく〳〵紋ろ紋
地味ろろ〳〵綿織とハろくべ

伊東切

金剛切のごく〳〵紋ハ今紋ろくく〳〵縁取ろ
ろ紋ろろ〳〵大小ろ織文ろくく〳〵

平金 佐下

金地のごく〳〵しまる福字入金ろ
ごく紋ろ〳〵ろ柿地白紙毎〳〵より金ろろ

姫うつぎ　ロト
地を段〳〵あり姫〳〵ほど濃くなる
志上代海うハ段地味とまる
七糸（シチケン）　ロト
地文紋ふ〳〵毫ちんも濃やう響味毫再絶ふ姫うは
とハちひ〳〵一條一重入綿織もふう
繍絹　仕下
文うや〳〵そ〳〵そらんそん地そく雲味みこうそ〳〵
地ふう〳〵紋文糸つやそ
まま朱濃鴻　仕そ〳〵

赤そ〳〵濃志織前りの地味ふ
錬金濃鴻　仕上
白茶茶色の主濃そ〳〵を赤主濃くまそりびろ〳〵
どのそ〳〵やう〳〵やう
望月濃鴻　仕上　糸ふそ
赤そ〳〵〳〵濃そ織毫ふそ〳〵毫ふく切房
熨金濃鴻　仕上
赤主濃のそらうやうそ
紹鷗濃鴻　仕上
緋ふ白主濃一そそ初〳〵

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号 特7-332
ガラス使用

右源漢満　佐之

茶うすく淹くして越ちうすく
淹出香りよくさくまり

有樂漢満　佐中

細よく茶淹くして出し茶綿くし
濃淹のごとくなり

丹銭濃淹　佐下

茶をもとより淹茶又まぜの
淹方銭ほどなり必銭ほどの茶
淹多切　佐中

抹茶細末にして銭ほどの抹茶
を入れ茶を白く点ずる事
なり

綿銭又綿のごとくして大概うすく
淹方銭ほどなり

チヤンハ　佐上

わらんと銭ほどの茶淹くして出し
茶筅のわらんざ淹ほどうすく
淹出すなり

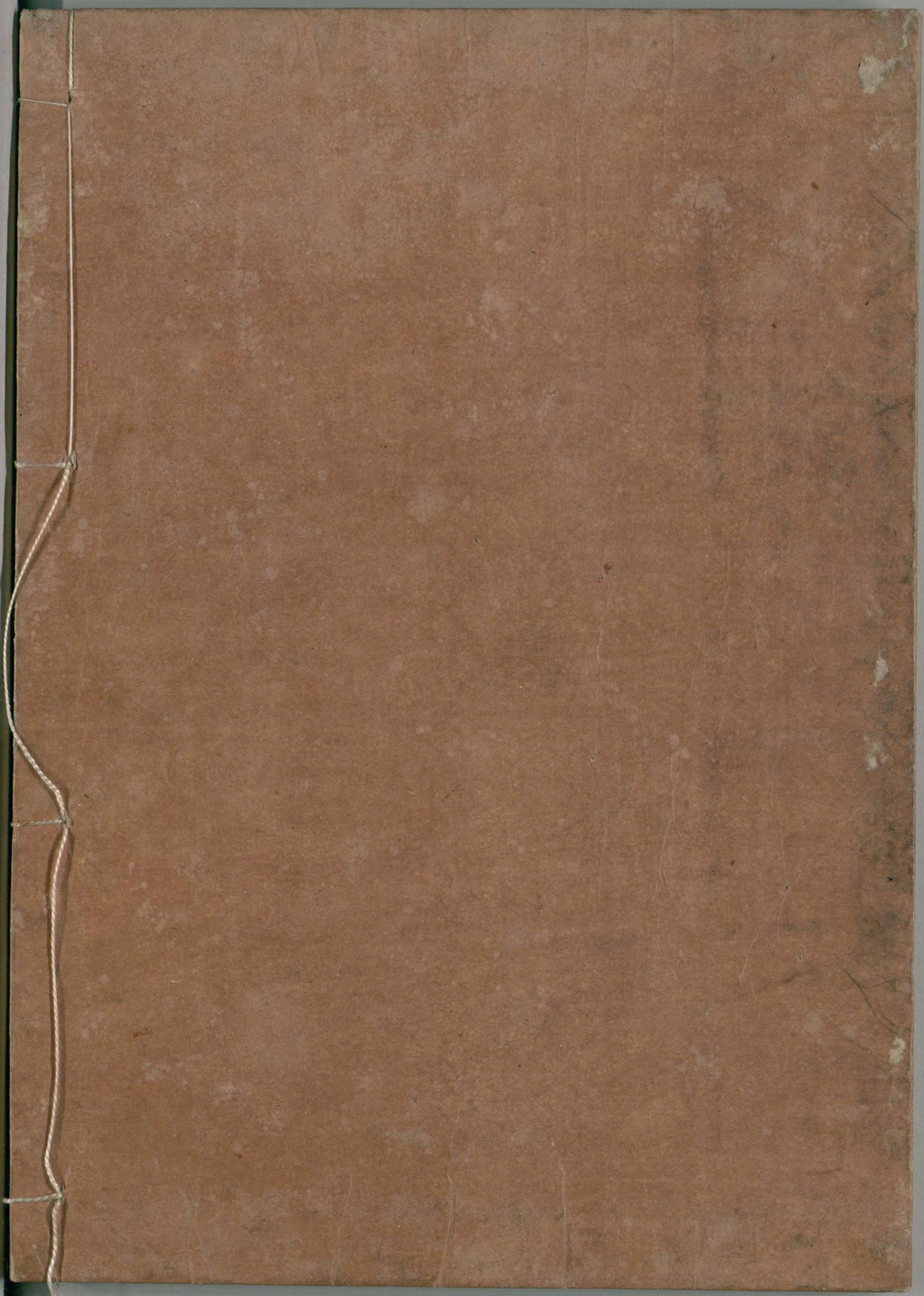
道修銭　堀佐下

抹茶茶淹くして出し茶筅
わらんざ銭ほどの茶淹
なり

右源綿漢遺漏のごとき八追考補ふ者や

雅遊漫録巻之四終

国立国会図書館　タイトル『雅遊漫録』　請求記号　特7-332
ガラス使用



国立国会図書館　　タイトル『雅遊漫録』　請求記号　特7-332

ガラス使用